

空港ゾーン

暮らしやすさ
特長とヒミツ

風情ある城下町も 世界の入口もすぐそこ



新しいバランスが
お見事!
感性が養えるやん



300年の歴史を持つ
「成田祇園祭」
Photo©Hideki YAMAGUCHI

全 10 市町で、成田空港と千葉ニュータウンを配する空港ゾーン。世界への玄関口でもあり、東京へのアクセスもいいんです。成田空港は LCC のネットワークが拡充。国内外からの観光客が多く、まちを歩くとインターナショナルな雰囲気も。成田市や印西市を中心に、大型ショッピングスポットも増えて活気がありますよ。

一方で、かつての城下町のまち並みが残り、伝統文化を大切にしながら、ゆったりした時間が流れるのも魅力。

田園風景に癒やされ、畑にはオイシイものがたくさん実っています。アートスポットにも恵まれた、感性が育まれるゾーンです。

進化するNARITA アクセスの利便性もアップ

ゾーンの顔ともいえる、約4万人が働く成田国際空港。都心と成田空港を最速36分で結ぶスカイライナーや、近隣主要都市から乗り換えなしでアクセス可能な成田エクスプレス、羽田空港や主要ホテルなどと直結する高速バスに加え、格安バスによるアクセスも充実しています。2015年6月には、圏央道「神崎IC～大栄JCT」間の開通で、マイカーでのアクセスの利便性も向上中です。



2015年誕生、LCCの新拠点「第3旅客ターミナルビル」
提供：成田国際空港(株)

収穫体験できる
ファームもあります



週末はさらににぎわう 千葉ニュータウン

ゾーンの中心の一つが「千葉ニュータウン」。白井市、船橋市、印西市の3市にまたがる地域で、東京都心や成田空港に近く、計画的に宅地造成が行われてきました。住宅のほか、企業、大学も。大型商業施設が集まり、週末ともなると、市外からも多くの人でにぎわっています。



1

1 通称ひょうたん山とよばれる薬山がトレードマークの「牧の原公園」(印西市)。秋はコスモスがキレイ

2 JA 西印旛農業協同組合の隣には「とれたて産直館 印西店」も

印西牧の原駅

国道464号沿いは大規模ショッピングゾーン

千葉ニュータウン中央駅

ニュータウンの中核。公共施設や大学、公園など

印旛日本医大駅

日本医科大学千葉北総病院など



千葉ニュータウン中央駅からの電車アクセス(アクセス特急利用)

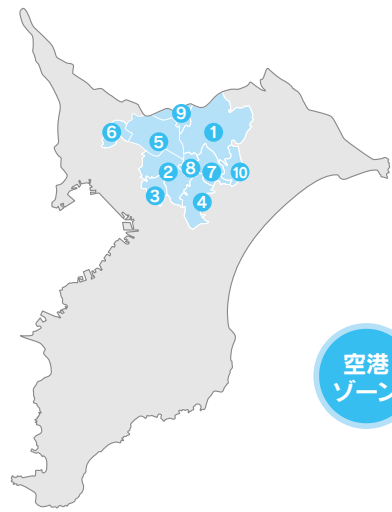
- 京成上野駅まで…約40分
- 空港第2ビル駅(成田第2・3ターミナル)まで…約20分
- 成田空港駅(第1ターミナル)まで…約25分

寺社や門前町でゆったり散歩

「成田山新勝寺」に代表される、歴史的なスポットが数多く点在するゾーン。大切に文化を受け継ぐ、伝統ある町での暮らしも魅力的です。成田市は多くの有形文化財(建造物)を有します。城下町・佐倉は、佐倉藩士が暮らしていた江戸時代後期の武家屋敷が保存され、佐倉城址には公園や「国立歴史民俗博物館」も。まちにはおだやかな時間が流れていますよ。



- 1 「成田山新勝寺」(成田市)の境内には、重要文化財に指定された多くの御堂や自然あふれる成田山公園が。年間1000万人以上の観光客が訪れます
- 2 成田山新勝寺の門前町には、明治前期の建築で、土壁で塗り込めた重厚な造りの「一粒丸三橋薬局」(写真)、屋上に望楼を高く掲げた姿が見事な「大野屋旅館」などがあります
- 3 佐倉市で保存されている武家屋敷(旧河原家住宅、旧但馬家住宅、旧武居家住宅)は見学も可能です



空港
ゾーン

- 1 **成田市** なりたし
企画政策課
成田市花崎町 760
☎ 0476-20-1500
<http://www.city.narita.chiba.jp/>
- 2 **佐倉市** さくらし
地域創生課
佐倉市海隣寺町 97
☎ 043-484-6748
<http://www.city.sakura.lg.jp/>
- 3 **四街道市** よつかいどうし
シティセールス推進課
四街道市鹿渡無番地
☎ 043-421-6162
<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp/>
- 4 **八街市** やちまたし
企画政策課
八街市八街ほ 35-29
☎ 043-443-1114
<https://www.city.yachimata.lg.jp/>
- 5 **印西市** いんざいし
企画政策課
印西市大森 2364-2
☎ 0476-33-4414
<http://www.city.inzai.lg.jp/>
- 6 **白井市** しroyいし
企画政策課
白井市復 1123
☎ 047-401-5998
<http://www.city.shiroyi.chiba.jp/>
- 7 **富里市** とみさとし
企画課
富里市七栄 652-1
☎ 0476-93-1118
<http://www.city.tomisato.lg.jp/>
- 8 **酒々井町** しすいまち
企画財政課
印旛郡酒々井町中央台 4-11
☎ 043-496-1171
<http://www.town.shisui.chiba.jp/>
- 9 **栄町** さかえまち
まちづくり課
印旛郡栄町安食台 1-2
☎ 0476-33-7719
<http://www.town.sakae.chiba.jp/>
- 10 **芝山町** しばやままち
企画空港政策課
山武郡芝山町小池 992
☎ 0479-77-3926
<http://www.town.shibayama.lg.jp/>



暮らしの“気になる”をチェック!

住環境・仕事

成田空港周辺地域、千葉ニュータウンを中心に、鉄道や幹線道路の整備が進み、環境に配慮した都市づくりが行われているゾーン。成田空港を拠点として、国際的な人とモノが交流し、働く世代が多く集まり、活気に満ちています! 都内、千葉へ通勤・通学も可能ですが、空港に関係した働き方も。観光業や、漁業、農業もさかんです。ニンジン、さつまいも、すいか、梨、落花生などの生産力強化が進められ、付加価値を付けたり、海外への輸出なども。



健康・医療

成田市では国際医療福祉大学の医学部・成田看護学部・成田保健医療学部が開学し、国際医療福祉大学成田病院(附属病院)の開院も予定されているなど、地域医療の充実が図られています。ゾーンの救命救急センターは、「日本医科大学千葉北総病院」、「成田赤十字病院」。「総合医療センター成田病院」、「成田富里徳洲会病院」、「聖隷佐倉市民病院」、「東邦大学医療センター佐倉病院」、「八街総合病院」、「印西総合病院」、「白井聖仁会病院」、「北総白井病院」、「千葉白井病院」など医療体制が充実。



「日本医科大学千葉北総病院」(印西市)



空港ゾーン

移住者インタビュー

鳥海孝範さん

●連絡先
ゲストハウス・コワーキングスペース・
レンタルスペース「おもてなしラボ」
〒285-0023
千葉県佐倉市新町168番地
☎ 043-310-7595

「おもてなしラボ」
のホームページは
右記QRコード
からアクセス▶▶



城下町であり、 ベッドタウンであり、農業地帯。 佐倉には人と人が繋がる コミュニティが生まれています。

鳥海孝範さんはゲストハウス「おもてなしラボ」を立ち上げ、コミュニティスペースを併設することで、小学生から高齢者まで幅広い人が集まる場を作り、誰もが関われる地域作りに貢献しています。

ゲストハウスがある地域は城下町

昭和31年に建てられた家屋を活用した「おもてなしラボ」を運営しています。成田空港から電車で20分というアクセスの良さを活用したゲストハウスのほか、コミュニティスペース、コワーキングスペース、レンタルスペースを兼ねた複合的な場として、地域住民や国内外の観光客が利用しています。

「おもてなしラボ」がある佐倉市は、都心まで1時間圏内のベッドタウンで、都心に働きに出る方が多い地域です。東京から訪れると最初に田園風景が広がる場所であり、城下町だったので、歴史的な建造物や多数の日本刀が収蔵された美術館もあるなど、日本文化が随所に残る町でもあります。

ゲストハウスは、京成佐倉駅から徒歩10分ほどの場所にあります。

住んでいながら地元の事を 良く知らなかった

元々は地域情報誌を佐倉市内で作っていたのですが、「佐倉のことを知らない」と仲間内で話していて、佐倉市を知るためのプロジェクトとして始めました。「おもてなしラボ」を始めたことで、佐倉市を知ることができたとし、面白い街だなという発見が多くありました。

ベッドタウンとして住んでいる人が多いからか、地元の魅力を知らない人が多いと感じています。そういった人たちに佐倉の良さや歴史とか文化を伝えていきたいと思い運営しています。





子どもたちと外国人が駄菓子で一緒に遊んでいる場所

コミュニティスペースは地元の人達が使っていて、ゲストハウスの利用者とも接点を持てる場にしています。この場を通じて人と人が繋がっていくことを日々実感しています。たとえば、コミュニティスペースに駄菓子を置いているので、近くの小学校の子どもが放課後に来て、お菓子を買って食べて、ゲームをする場所になっているのですが、そこでゲストハウスに宿泊する外国人が一緒になって遊んだりしています。この前も子どもが水飴を作っていて、それに興味を持ったメキシコの旅行者が話しかけた結果、子どもたちが割り箸で練り方を教えていました。「佐倉の未来を考える会議」というものも何回か行いました。その参加者が立ち上げたイベントがきっかけとなって、今は佐倉一箱古本市というイベントが生まれています。

これは今では年2回、計10回以上開催されていますね。今では様々な団体が、定例会とか会議とかする度に「おもてなしラボ」を使ってくれているので、色々な人が出入りをしていて、それぞれの活動に僕が直接参加したり他の団体を繋げたりということも起きています。既に存在していたコミュニティ同士が繋がるという場にもなっているのは非常に面白いですね。



移住者が入って何かを始められる余白はいくらでもある

ゲストハウスの利用者は、外国人と日本人が半々ですが、空港利用者なので佐倉を目的地としていない人がほとんどです。だからこそ「来てみたら、結構いいところだな」って思ってもらえるようにしていかないと、という想いはあります。

佐倉のまちづくりは、正直今はまだ中途半端で途上段階だと思います。一方で、どうにでもなるというか、どうにでも変えられる場所なので、移住者が入って何かを始める余白はいくらでもあります。こういう場で自分の手で何かやってみたいという人がいればウェルカムです。繋がれる方を紹介できるので、一度遊びに来てもらえたらと思います。

移住する場所としては、佐倉は都内での生活と極端な環境変化がないので、自然もある暮らしに徐々に慣れていくにはちょうどいいです。成田空港が近いので、外国との関わりにも関心がある方が移住したり、きっかけとしてゲストハウスを訪れてもらえたらいいなと思います。



空港
ゾーン

移住者
インタビュー

古川美之さん

●連絡先
NPO法人四街道プレーパークどんぐりの森
〒284-0044 四街道市和良比282-29
donchan@dongurinomori.net

NPO法人四街道
プレーパーク
どんぐりの森は
右記QRコード
からアクセス▶▶



四街道は、都市であり、
自然も残る地域。
ここには親子が自然とつながる
プレーパークがあります。

古川美之さんは四街道市内で、NPO法人四街道プレーパークどんぐりの森を立ち上げ、自然の中で学ぶことの大切さを地域に伝えています。

自然と子ども人を繋ぐまちづくり

四街道市は都心まで1時間で、里山や谷津田の自然が残る地域でもあり、仕事と、人としての豊かな暮らしの両方をできる場です。私は「自然と子ども、人とつなぐ」をテーマに子ども達と野外の遊び場づくり、まちづくりをしています。



子どもたちが自分の物差しを
作ることができる場所

人々の暮らしや子どもの育ち方があまりにも自然とかけ離れていることに危機感をいだき、人と自然が繋がる場が必要だと思い、自然の中での遊び場としてプレーパークを始めました。プレーパークは、「自分の責任で自由に遊ぶ」「ケガと弁当自分持ち」と考え、子どもたちが自主的に自発的に遊ぶための遊び場です。ここにはいつでも誰でも遊びに来ることができます。もちろん保護者や地域の方も！子どもたちは日々変化する自然の中で遊ぶことで心を満たし、大人はホッとできる時間を持つことで原点回帰できる機会になっているようです。プレーパークは、子どもたちが自分のペースで挑戦しながら過ごせることを大切にしています。子どもにとって大切なことは、「自分で考えて、試してみる。うまくいなくても失敗してももう一度試すことができる」ということです。自分の力だけではできない時には、友達や大人に聞いてみながらも、「遊び」の中で繰り返しチャレンジできます。そうすることで、自分の物差しを作ることができるようになります。自分の物差しとは、テストなどで他人が評価する物差しではなく、自分自身で自分の長所・短所を知り、自分で自分を評価することであり、自分で決めて自分で始め、納得したらそこで終わるといふことの繰り返す中で作られていきます。誰かが決めるのではなく、小さな選択も自分ですることにより、自分の人生を生きる力をつける。できるできないにかかわらず、ありのままを他者も自分も受け入れ、自己受容、自己肯定感、自己有用感、自己決定力が育つ場がプレーパークです。





自然を身近に感じながら
子ども大人も
自主的に自発的に考えて
遊べる場があります。

「育てなくちゃ」 という固定観念の外し方

大人にとっては、子どもが自ら育つ力を持っていること、「遊び」の中で試行錯誤しながら、自分で考えて決めていく力を育てていることを学ぶ場になります。教えられるより、自ら発見したことがより深い学びにつながることや知識から知恵に結びつくことは体験によって得られることを親も体感することができます。子育ては子どもが自ら育つ環境をつくり、子どもの発達や成長に応じて大人はサポートすることを学びます。

大人と子ども、それぞれにとってプレーパークは地域や様々な人たちと多様な価値観にふれて育つ機会となる場所です。そして、自然の中でリフレッシュできますし、自然の癒しと、自然との共生を感じることができる場所です。「みんなで同じことをして比べられる学校」や、「躰けられていい子でいることが求められる家庭」ではなく、「自分の責任で自由に」を謳う地域の育ちの場です。お父さんお母さんの「育てなくちゃ」とか、お子さんにとっての「いい子でいなくちゃ」という固定観念の外し方に気づける場所です。他には、子どもは「自分が何をしたいのか」、大人は「どう育てて欲しいのか」を見つめ直す場でもあります。

子どもは未完成な存在です。試行錯誤を繰り返しながら、様々な体験を経験に変えてそして学んでいきます。ご両親には、子どもの育つ力を信じ、ありのままを受け入れその育ちを支えてほしいと思います。



自分自身を大切に出来る地域に

プレーパークには子育て中の保護者、地域住民、乳幼児から小学生、中高生も参加しています。市外から来られる方もいて、誰でもいつでも無料で参加ができます。また、大き過ぎないコミュニティなので、一人一人、顔の見える関係があります。誰がどこでどのような取り組みをしているのか、自分が何かしたいと思った時に、相談し、同じ興味を持つ人とつながれる場所でもあります。私がプレーパークを運営している四街道市は自然に溢れているので、プレーパークを通じて、地域の人たちが子どもと自分自身を大切にすることができる地域にしていきたいと考えています。皆さんもぜひ一度プレーパークに遊びに来て、プレーパークの子育てを体験されたらよいと思います。そして、自然を身近に感じる暮らしをする中で、エコロジーやサステナブル、そしてエシカルについて当たり前語り、地域の魅力や地域の価値に気づき、大切なことを実践できる社会を一緒に作っていただけるといいですね。